

令和8年度 西武台千葉中学校・高等学校シラバス

科目名	技術・家庭(技術分野)				
教科	技術・家庭科	時間数	2時間	学年・コース	中学1年 全クラス
使用教科書	新しい技術・家庭 技術分野 (東京書籍)				
副教材等	正進社 技術・家庭ノート 技術分野				

1. 学習の目標・内容・特色(目標を実現するための重要点を含む)

ものづくりなどの実践的・体験的な学習活動を通して、材料と加工、エネルギー変換、生物育成及び情報に関する基礎的・基本的な知識及び技術を習得する。また、技術と社会や環境とのかかわりについて理解を深め、技術を適切に評価し活用する能力と態度を育てる

2. 学習の計画(どのような内容を、どの時期に学ぶのか)

月	単元名	評価方法	月	単元名	評価方法
4月	情報の技術 ①情報の技術の原理・法則と仕組み ②情報の技術の問題解決の工夫 ・双方向性のあるコンテンツ ・計測・制御のプログラミング	・ワークシート ・小テスト	10月	②材料と加工の技術による問題解決の工夫 ・木質材料による本立ての製作 ③社会の発展と材料と加工の技術	・作品評価 ・小テスト
5月			11月		
6月	生物育成の技術 ①生活や社会を支える生物育成の技術 ・作物の栽培実習 ②生物育成の技術による問題解決	・観察記録レポート ・ワークシート 第1学期期末考査 (授業内実施)	12月	エネルギー変換の技術 ①生活や社会を支えるエネルギー変換の技術 ②エネルギー変換の技術による問題解決 ・電気回路の設計・製作 (ラジオの製作を通して) ③社会の発展とエネルギー変換の技術	第2学期期末考査 (授業内実施) ・ワークシート ・実技 ・小テスト
7月			1月		
8月	2月				
9月	3月				
9月	材料と加工の技術 ①生活や社会を支える材料と加工の技術	・ワークシート ・実技			学年末考査 (授業内実施)

3. 評価の観点・方法及び年間の評定

評価は、次の観点から行います

- ① 知識・技能 ② 思考・判断・表現 ③ 主体的に学習に取り組む態度
上記の3観点のA, B, Cの組み合わせから5段階評定を算出します

なお、各観点別評価場面の設定については、具体的には次のものを対象とします

- ① 知識・技能 [小テストや定期テストの理解力]
② 思考・判断・表現 [課題の表現力、創造力]
③ 主体的に学習に取り組む態度 [課題の提出状況、出席、授業に取り組む姿勢・意欲]

年度末評定は、各学期の観点をもとに年度末の各観点を確定させ、その組み合わせによって決定します